

業 種／情報・通信業

主な事業内容／イーコマース事業、会員サービス事業、インターネット上の広告事業 など

従 業 員 数／6,993人(2020年3月31日現在)

大規模災害を想定して 各フロアに備蓄倉庫を設置

防火区画を考慮し、各フロアに2箇所ずつ災害備蓄倉庫を設置している。このように配置することで、大規模災害発生時に階段が使えないような事態に陥っても、他のフロアに移動することなく、備蓄品の入手が可能となる。また、各倉庫には飲料や食料品などが、想定出社人数プラス α も考慮して3日分備蓄されている。



各フロアの倉庫には3日分の飲料や食料品などが備蓄されている

簡易トイレ回収用の 箱や手袋等も用意

簡易トイレは、使い方を図案化したポスターを用意。また、実際の利用を想定して、トイレを回収する箱や袋、手袋等も配備している。



誰でも使用できるように簡易トイレの使い方は図案化している

外部の方にも分かりやすい 備蓄品の配置と設備の説明表示

来客会議室の室内に来客用のヘルメットを配備し、すぐに取り出せるよう目立つ場所に配置。またウォーターサーバーには、停電時の注水方法をマニュアルにしてまとめ、サーバー自体に貼り付けてある。



ヘルメットは誰でも取り出せるよう目立つ場所に

ウォーターサーバーには停電時の対処方法を貼付

BCPも最優先事項のひとつと 考え、停電時に備えて非常用の 電源装置を設置

当社は大規模災害発生時においてネットを通じて情報発信を行うことが重要な使命であると考えている。そのため、BCP(事業継続計画)も最優先事項のひとつとして、全社的に取り組んでおり、その一環として、停電になっても事業が続けられるように非常用電源装置を設置している。



各フロアに1台ずつ配備している



中型の蓄電池